

熊本 博之（くまもと・ひろゆき）氏

現在、明星大学人文学部人間社会学科教授。博士（文学）。
専門は地域社会学、環境社会学。特に沖縄の辺野古をフィールドにした研究については新聞、TVなどのメディアでも取り上げられている。



絵：金井 真紀

当区では、板橋区にまつわる様々な事柄についての調査法を学ぶ講座「公文書館活用術」の講師として度々登壇いただいている。

1975年 宮崎県生まれ。

2006年 早稲田大学文学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学、博士（文学）。

2007年 早稲田大学文化構想学部助手

2009年 明星大学人文学部人間社会学科助教、准教授を経て、2019年より同教授。

主要著書：

『交差する辺野古：問いなおされる自治』勁草書房、2021年

「東京郊外における共同性の再構築」（『地域社会学学会年報』31巻）2019年

「辺野古に積み重ねられた記憶について」（『世界』4月号）2019年

「カギ括弧を取り外した辺野古を描き出す」（『現代思想』11月号）2017年

「政治が沖縄にもたらしたもの」（『社会学評論』67巻4号）2016年ほか。